



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日

上場会社名 東京製綱株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5981 URL <http://www.tokyorope.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田英幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 喜旦康司 (TEL) 03-6366-7777
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	50,170	9.9	2,249	193.0	2,737	168.4	1,932	212.6
2022年3月期第3四半期	45,650	12.0	767	—	1,019	—	618	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 4,109百万円(313.9%) 2022年3月期第3四半期 992百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	119.80	—
2022年3月期第3四半期	38.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	89,908	29,943	33.0
2022年3月期	83,725	26,145	30.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 29,627百万円 2022年3月期 25,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	5.0	2,600	60.3	3,100	53.3	2,200	68.4	136.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	16,268,242株	2022年3月期	16,268,242株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	130,999株	2022年3月期	145,585株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	16,129,208株	2022年3月期3Q	16,113,466株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が所有する当社株式 (2023年3月期3Q : 130,200株) を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、防災関連事業や北米CFCC事業など開発製品関連が好調に推移したことに加えて、諸資材・エネルギー価格高騰への対応として実施した製品価格改定の効果や為替の影響などにより、50,170百万円（前年同期比9.9%増）と増加いたしました。

利益面においては、CFCC事業など開発製品関連の売上増加や製品価格改定の効果、為替の影響などにより前年同期からは大きく改善し、営業利益は2,249百万円（前年同期比193.0%増）、経常利益は2,737百万円（前年同期比168.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,932百万円（前年同期比212.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(鋼索鋼線関連)

近年のエネルギー諸資材並びに運送費等の値上げに伴うコストアップに対して、適正利潤の確保を図るべく、製品価格の改定を実施しました。その改善効果と、陸上・海洋関連など繊維ロープの販売が堅調に推移した結果、当事業の売上高は20,397百万円（前年同期比11.4%増）となり、また、繊維ロープ関連の高付加価値製品の売上などにより、営業利益は1,436百万円（前年同期比141.3%増）となりました。

(スチールコード関連)

主に前年度から進めている製品価格改定や輸出品の為替影響により、当事業の売上高は7,018百万円（前年同期比9.2%増）と増加しましたが、エネルギー諸資材の高騰、高止まりに加え、足元では国内外の客先在庫調整に伴う受注減の影響を受けて生産調整を行ったことなどにより、営業損失は795百万円（前年同期は700百万円の営業損失）となりました。

(開発製品関連)

国内防災関連が前期からの繰越案件消化もあり堅調に推移したほか、海外防災関連の販売拡大、北米CFCC事業の売上が増加したことなどにより、当事業の売上高は14,242百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は978百万円（前年同期比1,126.0%増）となりました。

(産業機械関連)

売上については概ね前期横這いとなりましたが、粉末冶金関連において、原材料価格の高騰などの影響により利益が減少いたしました。当事業の売上高は3,108百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は296百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

(エネルギー不動産関連)

原油価格上昇の影響により石油類の販売額が増加したため、当事業の売上高は5,402百万円（前年同期比13.4%増）と大きく増加いたしました。利益面では商業施設の運営費用が増加し、営業利益は334百万円（前年同期比22.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は売掛金や棚卸資産が増加したほか、手元資金の拡大、大幅な円安に伴う海外拠点の財務諸表の為替換算の増加などにより、前連結会計年度末と比べ6,182百万円増加の89,908百万円となりました。

負債については運転資金の増加に伴う借入金の増加により、前連結会計年度末と比べ2,384百万円増加の59,964百万円となりました。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したほか、為替換算調整勘定が大きく増加したことにより、前連結会計年度末と比べ3,797百万円増加の29,943百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(連結業績予想)

2023年3月期の業績予想は、当第3四半期連結累計期間の業績が鋼索鋼線関連や開発製品関連の各事業が堅調に推移しており、進捗率が高くなっている状況や、足元での為替の影響等も踏まえて通期業績予想を見直した結果、2022年11月10日に公表した通期予想を上回る見込みとなることから、その一部を見直し、経常利益3,100百万円（前回予想3,000百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益2,200百万円（同2,100百万円）に上方修正しております。

(剰余金の配当)

上記業績予想の修正に伴い、2022年11月10日に公表した2023年3月期の期末配当予想を修正し、1株当たり35円00銭（前回予想30円00銭）を予定しております。

なお、業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものでありますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,437	6,223
受取手形、売掛金及び契約資産	15,711	16,875
商品及び製品	6,760	7,900
仕掛品	4,286	4,795
原材料及び貯蔵品	5,062	4,899
その他	1,263	1,859
貸倒引当金	△20	△18
流動資産合計	37,500	42,535
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,470	7,048
機械装置及び運搬具（純額）	5,210	5,099
土地	18,194	18,193
建設仮勘定	317	378
その他（純額）	1,538	1,522
有形固定資産合計	31,732	32,240
無形固定資産	434	514
投資その他の資産		
投資有価証券	5,947	6,324
退職給付に係る資産	790	1,068
繰延税金資産	3,312	3,175
その他	4,087	4,186
貸倒引当金	△79	△137
投資その他の資産合計	14,058	14,617
固定資産合計	46,225	47,372
資産合計	83,725	89,908

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,435	13,256
短期借入金	5,377	13,133
未払費用	2,277	2,665
賞与引当金	911	501
未払法人税等	392	903
その他	5,558	5,593
流動負債合計	26,953	36,053
固定負債		
長期借入金	19,844	13,624
再評価に係る繰延税金負債	3,922	3,919
退職給付に係る負債	4,254	4,213
その他	2,604	2,153
固定負債合計	30,625	23,911
負債合計	57,579	59,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	1,070	1,059
利益剰余金	13,566	15,172
自己株式	△283	△259
株主資本合計	15,352	16,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	791	1,003
繰延ヘッジ損益	1	△1
土地再評価差額金	9,063	9,063
為替換算調整勘定	778	3,011
退職給付に係る調整累計額	△485	△423
その他の包括利益累計額合計	10,149	12,654
非支配株主持分	643	316
純資産合計	26,145	29,943
負債純資産合計	83,725	89,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	45,650	50,170
売上原価	36,981	39,914
売上総利益	8,669	10,255
販売費及び一般管理費	7,901	8,006
営業利益	767	2,249
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	193	211
為替差益	122	270
持分法による投資利益	98	118
その他	197	212
営業外収益合計	621	823
営業外費用		
支払利息	207	191
その他	161	145
営業外費用合計	369	336
経常利益	1,019	2,737
特別損失		
減損損失	242	49
本社移転費用	—	55
貸倒引当金繰入額	—	30
その他	1	—
特別損失合計	244	135
税金等調整前四半期純利益	775	2,601
法人税等	413	994
四半期純利益	361	1,607
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△256	△324
親会社株主に帰属する四半期純利益	618	1,932

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	361	1,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△227	212
繰延ヘッジ損益	△15	△2
為替換算調整勘定	546	1,889
退職給付に係る調整額	122	59
持分法適用会社に対する持分相当額	205	343
その他の包括利益合計	630	2,501
四半期包括利益	992	4,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,240	4,436
非支配株主に係る四半期包括利益	△247	△327

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	産業機械 関連	エネルギー 不動産関連			
売上高								
外部顧客への売上高	18,312	6,425	12,999	3,148	4,764	45,650	—	45,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	134	240	6	69	502	953	△953	—
計	18,446	6,666	13,005	3,218	5,267	46,604	△953	45,650
セグメント利益又は セグメント損失(△)	595	△700	79	361	431	767	—	767

(注)セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鋼索鋼線関連事業」及び「開発製品関連事業」セグメントにおいて、将来の使用が見込めなくなった遊休資産及び営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなる見込みの資産グループについて、その帳簿価額を回収可能価額まで減額し、「鋼索鋼線関連事業」19百万円、「開発製品関連事業」223百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	産業機械 関連	エネルギー 不動産関連			
売上高								
外部顧客への売上高	20,397	7,018	14,242	3,108	5,402	50,170	—	50,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	190	261	3	76	634	1,165	△1,165	—
計	20,588	7,279	14,246	3,184	6,037	51,336	△1,165	50,170
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,436	△795	978	296	334	2,249	—	2,249

(注)セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。